

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

いーなん

2022

6

No.210

特集 とともに守る、ふるさとの未来



データが示す出身者の想い

アンケートは、送付人数1,806人の内、580人から回答をいただきました。
幅広い年代の皆さんに協力していただき(グラフ①)、出身地比率は町内出身者と町外出身者がほぼ半々でした。



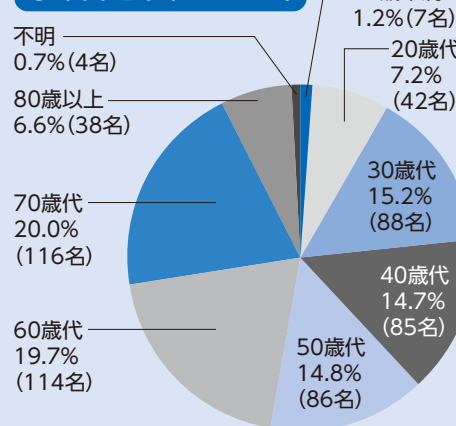
町内出身者のアンケート結果に絞って分析すると、6割近くの人が飯南町に対して良い印象を持っていることがわかりました(グラフ②)。細かく見ると、子育て環境に対しての良い印象の比率が高く、逆に生活利便性に対する悪い印象の比率が高い結果となりました。

現居住地への転居理由を尋ねた項目では、住宅購入、就職、結婚などのライフステージの変化によるものが半数以上を占めています(グラフ③)。

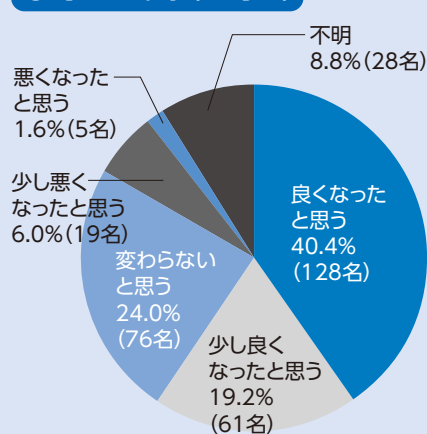
Uターンを検討しているか尋ねた項目では、「移住できない・難しい」「未検討」が8割近くと大半を占めており、住宅購入や仕事のことなどがあり、Uターンが難しい現状が浮かび上がります(グラフ④)。

最後に、Uターンに限らず、離れていても飯南町との関わりを維持していくために重要なことを尋ねた項目では、「飯南町情報の発信」が最多となりました(グラフ⑤)。

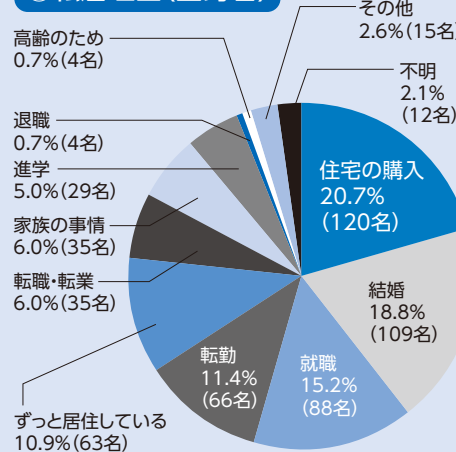
①年代比率(全回答者)



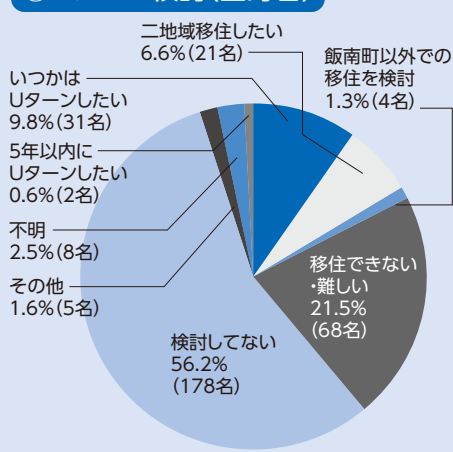
②町への印象(出身者)



③転居理由(出身者)

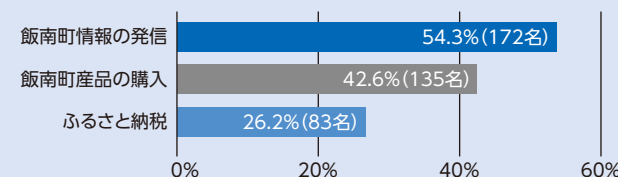


④Uターン検討(出身者)



⑤関わりの維持・拡大に重要なこと(出身者)

複数回答可能(上位3つを抜粋)



ともに守る、ふるさとの未来

ふるさと応援宅配便に合わせて実施したアンケート調査。
そこから見てきたのは町外で暮らす出身者の想いでした。
ふるさとを守るため、ともにできることを考えてみませんか。



コロナ禍で 途絶えた交流を 取り戻すために

新型コロナウイルスが私たちの暮らしに大きな影響を与えるようになり、2年以上の月日が流れました。この間、移動制限を強いられる中で、離れて暮らす家族や友人に気軽に会うことができなくなりました。

こうした状況の中、町では町民の皆さんが町外で暮らす家族や友人に、農産物や特産品などを発送する際のお手伝いになればと、「ふるさと応援宅配便助成制度」を実施しました。

「飯南町になかなか帰ることができない人へ、ふるさとの想いを届けたい」という多くの皆さんに利用していただきました。

町では、このふるさと応援宅配便の発送機会を活用し、島根県中山間地域研究センターと共同でアンケート調査を実施しました。宅配便の発送先は、町民の皆さんとの関係の深いことから、コロナ禍で途絶えた町外との交流促進のための手がかりを探すためです。

離れていても 気になるふるさと

アンケートの結果、飯南町に対して良い印象は持っているものの、ライフステージの変化により、Uターンすることができない出身者が多くいることがわかりました。同時に、出身者は飯南町の情報を求めていることもわかりました。

「離れていても、ふるさとの状況が知りたい」。

Uターンできないことと、ふるさとへの関心の有無は、別問題であるということが見えてきました。

このように、ふるさとへの関心を持つてくれている出身者に対して、飯南町に住んでいる私たちには何ができるのでしょうか。

町内には、積極的な情報発信に取り組んでいる地区がたくさんありますが、その中でも、特に出身者との交流に主眼を置いた取組を行っている地区があります。そこには、これからの交流のあり方のヒントが隠されていました。

定住に繋げるための 情報発信を 「志々地区の取組」

ふるさとへ帰省できない人、長らく離れている人へ、志々地区の情報を届けたい――。

志々地区の住民で組織する「わっしょい志々会」では、出身者へ地区の情報が詰まったふるさと便「志々

は元気です」を送る取組を始めました。

デジタル社会の中、あえて紙の情報誌を発送することにこだわり、志々地区の風景を絵葉書にしたものを同封するなど、ふるさとのぬくもりを感じてもらえるよう工夫しています。インターネットによる情報発信も行っていますが、紙媒体はじっくり目を通してもらえるという良さがあり、両方を使い分けています。



ふるさとへのぬくもりと一緒に届けます



志々地区を盛り上げる！わっしょい志々会の皆さん

この取組は、出身者から出身者へ口コミで広がり、「あの人にも届けてあげてほしい」といった声も聞かれるようになりました。

志々地区では、Uターン希望者に対し、移住するための資金を支援するなど、地区独自の定住促進の取組を進めています。出身者に積極的に情報を発信することで、田舎暮らしに関心のある人に情報を届けたという想いもあります。

「現在の発送先は、比較的年配の人が多いですが、その人たちの子や孫、交流している人などが志々に興味を持ってくれて、定住につながるべうれいですね」と、わっしょい志々会のメンバーは話します。

やみくもに情報を発信するのでなく、定住という次の展開を見

谷地区では、コロナ禍前には隔年で、谷小学校の卒業生会を実施していました。多くの出身者が集まり交流していましたが、ここ数年は開催できない状態が続いています。

助け合える 地域の実現に向けて 「谷地区の取組」

据えることで、本当に届けべき情報が見えてくる。実現したい未来を見据え、志々地区は取り組んでいます。



谷地区の未来を見据える谷自治振興会の皆さん

このような状況の中、谷自治振興会では、出身者との関係を希薄にさせたくないという想いで、地区の情報誌を届ける取組を始めました。

今年発送した便では、「ふるさと谷との関わりについて」という内容の

アンケート用紙も同封しました。過疎化が進行し、地区を支える担い手が不足する中、今後の出身者との交流のあり方を模索するためです。同時に、地区住民に対してもアンケートを実施。普段の生活の中で困っていることなどを調査しました。

「地区住民が困っていることと、出身者がふるさとのために協力したいと思っていることを、うまくつなげることができれば――」。そんな未来を思い描きます。

谷地区では、令和2年に地域計画「谷未来ビジョン」を策定しました。これからの地域づくりの方向性を示した計画ですが、高齢化や人口減少により、地区住民だけでは計画を進めることが難しくなってきました。

「出身者にもぜひ関わってほしい。自分たちが楽しく面白く活動していれば、やってみようかなという気持ちになる人がいるかもしれない。一人二人でも関わってくれる人が増えれば――」。

出身者と地区住民が、うまく関わり合いながら進める地域づくりの実現に向けて、谷地区は動き出しています。

アンケートの 調査分析を 担当



島根県中山間地域研究センター
主任研究員
あずま 東 良太さん

近年、自然災害や新型コロナウイルスの影響により、人と人との関係性に大きな変化が求められるようになりました。安心して暮らしていくためにはどうしたらよいか考えたときに、重要となるのが、より親密な関係で支え合う「支え愛」です。しかし、人口減少が進む中、地域の中だけの「支え愛」では限界があります。そこで必要となるのが、地域外の人との関わりです。

Uターンが増えればよいですが、アンケート結果からもわかるように、なかなかUターンまではできない人が多い。そうすると、それぞれの暮らしをしながら関わるのが現実的です。アンケートの自由記述欄には、ふるさとへの想いがあふれていました。この人たちとの連携が、これからの中山間地域が元気であるた

めの原動力になると思います。アンケートの「ふるさとで思い浮かべる範囲」という項目で最も多かったのが、各地区（志々・頓原・来島・赤名・谷）でした。この結果からも、地区単位で働きかけることが、出身者に一番響くのではないのでしょうか。志々地区や谷地区のような取組が広がればと思います。

ともに守る、 ふるさとの未来

それぞれの事情により、ふるさとに帰ることができない。でも「離れていてもつながりを維持して、実家や地域を支えたい」という想いを持つ

ている出身者はたくさんおられます。そして飯南町に住んでいる私たちも、「このふるさとを守りたい」という想いは同じです。

お互いが必要としていることを理解し合い、うまく補完し合う関係ができれば、目指すべき共通の未来が見えてくるのではないのでしょうか。

5.15
日

おいしいお米になりますように カモしゅん入田式

アイガモ農法で米を生産する「うやま農園」で、カモのひなの「入田式」が開催されました。

参加したのは、町内外の子どもとその保護者など26人。アイガモを鳥獣から守るためのナイロン製のヒモを、田んぼに設置した後、約80羽のカモのひなを田んぼに放しました。

入田式後には、宇山智明さんの古民家で、アイガモ農法で育てた「カモしゅん米」の卵かけご飯が振る舞われました。このイベントはうやま農園のある、小才田地区の住民が主催。



アイガモが田んぼの雑草や害虫を駆除します

5.15
日

ディオッサ出雲が飯南に 赤名FCサッカー教室

ディオッサ出雲FCが赤名FCを対象にサッカー教室を開催しました。

ディオッサ出雲FCは、出雲市を拠点に、なでしこリーグ昇格を目指す女子サッカーチームです。

当日は赤名FC17人、ディオッサ出雲FC25人が参加。選手が考案した練習メニューやミニゲームを行いました。赤名FCキャプテンの吉川嗣道さんは「ミニゲームをしてみても良かった。ドリブルやパスの正確さに驚きました」と話しました。



地域貢献や知名度アップのため、県内の子どもたちにサッカー教室を開催

春の叙勲(旭日小授章)

山崎英樹さんが受賞

山崎英樹さん(小田)が「春の叙勲」を受賞しました。

山崎さんは、平成13年から平成16年まで赤来町長、平成17年から令和3年まで飯南町長として、通算5期20年に渡り、地方自治の発展向上に大きく貢献されました。

山崎さんは「町民の皆さんや役場職員の方々に支えられたおかげです。感謝しています。これからも、微力ながら飯南町の発展に貢献していきたいです」と話していました。



教科書供給功労者表彰

田部容孝さんが受賞

田部容孝さん(野萱)が、文部科学省の教科書供給の円滑な実施の奨励を目的とする「教科書供給功労者表彰」を受賞しました。

田部さんは、小中学校への教科書供給に51年従事し、教科書の供給を通じて、学校教育の発展に寄与。

田部さんは「光栄なことでもうれしく思います。義務教育の教科書は、無償で提供されているからこそ、生徒の皆さんには、大切にしている気持ちを持ってほしいです」と話していました。



コロナ禍でも華やかに

第47回飯南町ぼたんまつり

5月9日から15日まで、赤名観光ぼたん園でぼたんまつりが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年に続き飲食ブースや、ステージイベントはなく、ぼたんの鉢植えが販売されました。

今年の新たな取組として、過去のぼたんまつりの様子を展示する「ぼたん園思い出展」や、ぼたんの品種説明等を、気軽に楽しめる「スマホで楽しむAR展」を企画され、多くの来場者で賑わいました。



色とりどりに咲き誇るぼたん

5.14
土

新たなルートで新たな楽しみ 地元の山ハイキング

赤名公民館主催の「地元の山ハイキング」が開催されました。

参加したのは、登山が好きな地元住民やガイドなど9人。赤名小学校近くにある、水辺の学校から武名ヶ平山を巡るルートを歩きました。

参加者は「旧スキー場のリフトが見える場所や、眺望が良い所もあり、地元の新山に楽しみが触れられました」と話していました。

今回のルートは、衣掛山周辺の整備をしておられる、門脇勝二さんが新たに整備されたルートです。



旧スキー場のリフトの下で

5.21
土

子ども中心の学びの場 わらべの学校

今年度も志々公民館の恒例行事「わらべの学校」が始まりました。

今回、子どもたちは、マッチを使った火おこしを体験し、おこした火が大きくなつていく様子を、興味津々に眺めていました。火おこし後は、さつき会館横の畑で、サツマイモの苗を植え付けてから、おこした火でパンを焼きました。

「わらべの学校」は平成8年度から開催。志々地区を舞台に、通学合宿など、さまざまな活動を行っています。



はじめての火おこしに悪戦苦闘

5.29
日

親子でふれあい、学ぶ 人権紙芝居公演+α

「楽しく人権を学ぼう」をキャッチフレーズに、谷笑楽校で「人権紙芝居公演+α」が開催されました。

松江市在住の紙芝居作家のよしとさんが、「人権」って何だろう?をテーマに紙芝居を披露。参加者は唄ったり、踊ったり、親子でふれあいながら人権を学びました。町立中央図書館による移動図書館では、人権に関する図書の紹介や貸出も行われました。

この公演は、人権・同和教育の一環で谷公民館が主催。



当日は25組の親子が楽しく人権を学びました



まちの魅力をどういう言葉で表せるかを語り合いました

■問合せ まちづくり推進課
76・2864

最終回となる今回は、ブランドメッセージの土台となるフレーズを作りました。

参加者は、「将来はこんな町にしたいね」と話をしながら、何気ない日常の魅力や、未来への決意を込めたフレーズを考えました。

このフレーズをコピーライターに磨いてもらい、ブランドメッセージ案が完成。どの案に共感するか、人気投票を行い決定していきます。

※投票の詳細は町ホームページをご覧ください。

ブランドメッセージプロジェクト 「メッセージ案完成」

5月14日(土)



中高生食堂を利用する高校生

■問合せ まちづくり推進課
76・2864

野萱地区三日市に、食とアートを楽しめる「Café & Gallery 鐘や」(以下、鐘や)がオープンしました。

「鐘や」を運営する「STKプロジェクト(八嶋敏江代表)」と、包括連携協定を締結した野萱自治区振興会が、町の「みんなであつくる価値ある『いいなん暮らし』創生補助金」を活用し、地域の魅力づくりの一環として、開業しました。

「鐘や」は絵画などを展示する「ギャラリー」や、中高生のための「中高生食堂」も兼ね備え、地域住民の集いの場としても期待されています。

野萱地区に文化拠点が誕生



■問合せ 産業振興課
76・2214

学校・病院・公園等の公共施設、住宅地に隣接する農地で農薬を散布する場合は、次のことに注意してください。

- 農薬散布前に周辺住民に知らせる
- 風向き等に配慮し、周囲に薬剤が飛び散らないようにする
- 使用する農薬の容器等に記載された使用方法・使用上の注意事項を守る

農薬の飛散を原因とする健康被害が周辺住民に生じないように心がけてください。

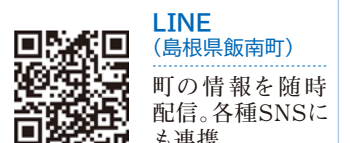
農薬の飛散防止・安全使用



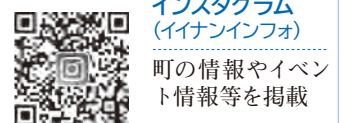
フェイスブック
町の情報やイベント情報等を掲載



Instagram
(イナンオフィシャル)
町のゆるやかな時間を感じる写真を掲載



LINE
(島根県飯南町)
町の情報を随時配信。各種SNSにも連携



Instagram
(イナンインフォ)
町の情報やイベント情報等を掲載

■問合せ まちづくり推進課
76・2864

町では、3月末のホームページリニューアル以降、「町公式インスタグラム」や「LINE(ライン)」の町公式アカウントなど、SNSを活用した情報発信を進めています。ぜひ、登録して活用ください。

町の新たな情報配信ツール

令和3年度に寄附金を活用して実施した主な事業

- ・大しめ縄の町「ブランド」の推進
- ・登山道案内看板の設置
- ・飯南高校の魅力化
- ・保育所の内装などの施設改修
- ・中学校におけるICT教育の充実
- ・高齢者緊急通報システムの設置

今年度も、寄附者の皆さんの想いを大切に、飯南町のまちづくりに有効活用していきます。

■問合せ
まちづくり推進課
76・2864

令和3年度事業別寄附状況

事業名(用途)	寄附金額(千円)	寄附件数
産業振興及び観光振興	21,845	3,851
定住の推進	3,640	
飯南高校の特色ある教育の支援	8,510	
将来を担う人材の育成	39,340	
高齢者等にやさしい福祉	9,520	
安心な地域医療の対策	8,902	
環境を守る森づくり	16,700	
事業指定なし	52,840	
災害支援寄附	1,120	
合計	162,417	

令和3年度のふるさと応援寄附金は、1億6,241万円余りとなりました。

全国各地の皆さんから多くのご支援をいただきました。いただいた寄附金は町のさまざまな取組に活用しています。

7月豪雨災害の際には、災害復旧のために、全国各地から心温まる寄附が寄せられました。

ふるさと応援寄附金の実績を報告します



高校「生命地域学(中山間地域体験学習)」の様子



中学校でのICT機器を活用した授業の様子

ごみの出し方のお願い

①資源ごみになる「食べ物・飲み物が入っていた容器(ビン・カン)」はきれいに洗って出しましょう。

※入浴剤の容器は資源ごみではありませんのでご注意ください。

②資源ごみとして出された新聞紙の中にチラシ等が紛れていることがありますので、区分してください。

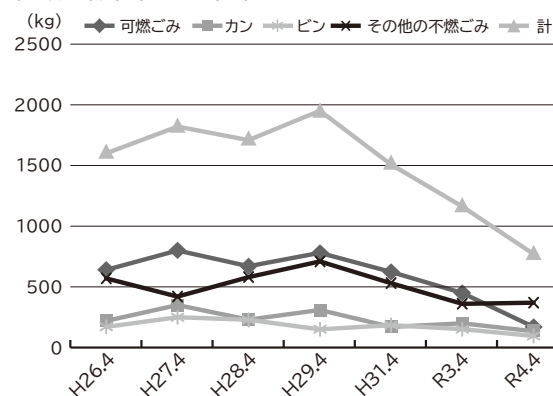
③袋にはきちんと名前を書いて出しましょう。

ごみの出し方については、再度「家庭ごみの分け方・出し方」をご確認ください。(いいしクリーンセンターHPにもあります。)

■問合せ いいしクリーンセンター 72-9217
住民課 76-2213

令和4年度散在性ごみ収集活動集計表

種類別散在性ごみ収集量



令和4年度の特徴

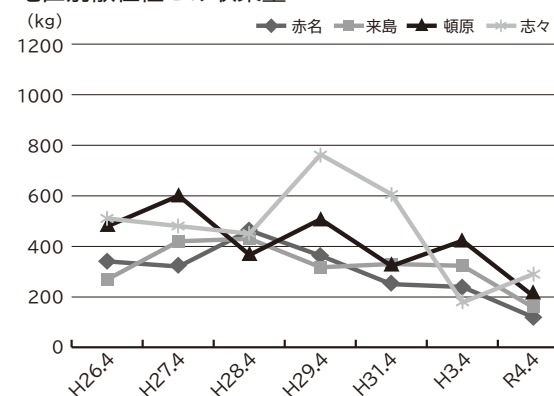
昨年度と比較し、「その他不燃ごみ類」を除いては全体的にごみの量が減少しました。今後も美しいまちづくりへのご理解、ご協力をお願いします。

ゴミ収集不可理由集計表

収集できない理由	件数
氏名の記載なし	26
直接持ち込みが必要	5
袋の間違い	9
ごみの出し方の間違い	186
ごみ袋を2重にしている	9
容量を超えている	65
生ごみの水切不十分	2
その他	20
合計	322

(R3.4~R4.3)

地区別散在性ごみ収集量



healthycolumn

健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院
便り

4月から働く医師・職員を紹介します 第2弾



臨床検査技師 和田奈都子

京都の専門学校を卒業し、飯南病院で働かせていただくことになりました。

どうしたら、患者の皆さんのお役に立てるのかを常に意識して、仕事に精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師 渡邊真純

3月に島根県立大学を卒業し、飯南病院で働かせていただくことになりました。亡くなった祖父がきっかけで地域医療に興味を持ち、地元飯南町で活躍する看護師を目指そうと思いました。分からないことも多いですが、少しずつできることを増やし、早く一人前の看護師になりたいと思います。よろしくお願いします。



看護師 高木彩花

出雲医療看護専門学校を卒業し、飯南病院で働かせていただくことになりました。出身は松江市ですが、自然豊かで、温かみのある飯南町に魅力を感じ、この春に引っ越してきました。慣れないことが多く、お世話になりますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



看護師 黒角梨奈

岡山県の専門学校を卒業後、地元の飯南病院で勤務させていただくことになりました。

今まで支えて下さった地域の皆さんに恩返しができるよう、そして少しでも早く看護師として成長できるよう努力したいと思います。よろしくお願いいたします。

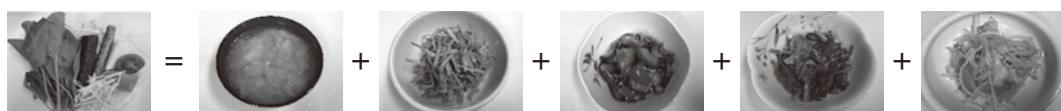
保健福祉センター
便り

6月は「食育月間」 毎月19日は「食育の日」です

野菜を使った料理を一品増やしてみよう

大人が1日に必要とする、栄養素(ビタミン・ミネラル・食物繊維等)を取るためには、野菜350グラムが必要と言われています。野菜には、カリウムや食物繊維などの栄養素が含まれており、高血圧や糖尿病の予防にも効果があります。料理一品で野菜約70グラムを摂取できるとして、写真のように、5品食べると、必要となる野菜350グラムを摂取できます。

下記のおすすめレシピを参考に、野菜を取り入れた料理を食べるようにしましょう。



～旬のおすすめレシピ～ アスパラガスと新玉ねぎの卵炒め

材料(2人分)

- ・アスパラガス…3本(100グラム)
- ・新玉ねぎ…1/2個(100グラム)
- ・卵……………2個
- ・顆粒鶏がらだし……………小さじ1
- ・オリーブ油……………大さじ1

1人分

- エネルギー……………171カロリー
- たんぱく質……………9グラム
- 塩分……………1グラム



～作り方～

- ①アスパラガスの根元の皮は固いので、皮むき器で皮を取り、さっと茹でて、冷まし、斜めに切る。
新玉ねぎは皮をむき、薄切にしておく。
- ②フライパンでオリーブ油(大さじ1/2)を熱し、溶いた卵を入れ、大きくかき混ぜ、ふんわりと火を通して、器に取り出す。
- ③②のフライパンに、オリーブ油(大さじ1/2)を熱し、①の新玉ねぎ、アスパラガス炒め、顆粒鶏がらだしで味付けし、火を通した卵を戻して、ざっくりと混ぜる。

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

クロモジの利用が進んでいます

●中山間地域研究センター

☎76-2025

<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



クロモジは葉と枝に、爽やかな柑橘系の香りがある樹木で、昔からお茶や和菓子を食す時の、爪楊枝などに利用されてきました。県内すべての市町村に自生していますが、とりわけ飯南町は多く自生しています。

このクロモジを利用した商品開発が、町内で進んでいます。お茶はもちろんですが、「ラーメン」、「チップス」や「カステラ」などに使われており、ご存じの人もいます。そして、国内で最もクロモジが消費されている「薬用養命酒」の原料として、県内では唯一、飯南町のみ出荷実績があります。

当センターで発行した「クロモジ生産のてびき」は、クロモジの育て方から、収穫後の作業(洗浄、乾燥、細断)までの手順を紹介しています。原料出荷や商品化などに関心をお持ちの人は、お気軽にお問い合わせください。クロモジ利用が、町全体の取り組みとなることを期待しています。

■問い合わせ きのこ・特用林産科 ☎76-3815



クロモジの苗



山から収穫したクロモジ

集落支援員

町内5地区で活動する「集落支援員」の活動や地域の取り組み、地域自慢を紹介します。

地域のお宝を探していると、今は途絶えた文化や風習を発見することがあります。その一つとして、谷地区の「へび神様祭り」を、邑智郡誌(昭和12年刊行)の記述と、三東崇宏氏(谷村八幡宮元宮司)の話をもとに紹介します。

■へび神様祭り

「塩谷のかつら」として知られる、樹木の根元にまつわる祭事「へび神様祭り」。それは龍神信仰と荒神信仰が混交した祭事です。邑智郡誌によると「谷村大字塩谷に『御崎プロ』とて櫻木数本茂れる森ありて小祠に大元の神を祭る。同村正部の大元とて櫻樹の老木の下に小祠ありて大元の神を祭る。往古より谷村の式年祭には此2箇所へ御崎綱を納め、都賀村松尾山八幡宮の式年祭には塩谷の御崎プロと同神社境内にある檜の老木におさめらる」と記述されています。

三東氏の話によると、谷村八幡宮で式年祭を催行し、家内安全・五穀豊穡・国家安泰が祈願された後、「大元神楽」が奉納されます。その中で行われる「御崎綱行事」は、その年の新藁で2間(約3.6m)の「龍神(藁蛇)」を作り、神主が祭典神事を行ったのち、複数の神主が「藁蛇」を抱きかかえながら、神楽舞「蛇舞」を舞うというもの。祭事が終わった後、「藁蛇」は塩谷地区にある「御崎プロ」(井戸谷地区「正部」の老木の根元)に奉納されたようです。昭和27年頃までは、谷地区でもこの祭事が行われたようですが、以後の催行記録は残っていません。



平成27年11月にかつらの樹元に、「藁蛇」が奉納されているのが、たまたま目に留まり、撮影したもの。おそらく、都賀本郷松尾山八幡宮の式年祭に合わせ奉納されたものと思われる。



求 人 情 報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864
(役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

(有)いおり 73-0362	
介護主任職員(庵)・(ブナの木) 介護福祉士、普通自動車運転免許(AT限定不可)	各フル 1人
介護職員(庵) 普通自動車運転免許	フル 1人 パート 1人
介護職員(ブナの木) 普通自動車運転免許	パート 1人

(福)飯南町社会福祉協議会 76-2170	
看護業務(あかぎの里) 看護師又は准看護師	フル 1人 パート 1人
看護業務(通所介護事業所) 看護師又は准看護師	フル 1人 パート 1人
介護業務(あかぎの里)・(通所介護事業所)	フル 3人
介護業務(訪問介護事業所) 介護福祉士か2級ヘルパー	フル 1人
調理業務(あかぎの里)	フル 1人

(福)友愛会 72-0214	
介護職員 介護福祉士	フル 3人
介護支援専門員 ケアマネージャー	フル 1人
看護職員 看護師又は准看護師、普通自動車運転免許	フル 1人
シーツ交換作業 9:00~17:00内2時間程度	パート 1人
事務補助	パート 1人

放課後子ども教室(教育委員会) 76-3944	
放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り 頓原拠点複合施設、赤名小学校、来島小学校のいずれか	パート 1人

奥野産業(合) 76-2988	
重機オペレーター・現場管理・手元作業 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 2人

飯石森林組合 62-1520	
ザ・モリト(森林整備従事者) 普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 2人

(株)佐藤組西部営業所 0855-74-6190	
電力会社の送・配電線や情報通信線の支障木の 伐採作業(邑智郡、大田市、出雲市、飯石郡地内) 使用期間3か月、伐採に関する資格があれば尚可	フル 2人

(株)ファーム木精 72-1999	
農作物栽培管理者 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

日本郵便(株)来島郵便局・頓原郵便局 76-2300	
郵便物集配業務 原付又は自動二輪又は普通自動車運転免許	フル 2人

(有)頓原ランドリー 72-0036	
衣類クリーニングの仕上げ・受付	パート 1人

中国化成工業(株)本社工場 76-2258	
倉庫業務(フォークリフト運転) 59歳以下	フル 1人

松江石油(株) 0852-23-1881	
販売・技術職	パート 1人

地域おこし協力隊員(飯南町大しめなわ創作館) 76-2214	
しめ縄文化伝承等 20歳以上50歳未満・3大都市圏と都市地域等から 飯南町に住民票を移動できる方	フル 1人

ツキノワグマの 遭遇に注意を

緑生い茂る時期、ツキノワグマの行動も活発になります。行楽や農林作業等で山に入る場合は、クマとの遭遇にご注意ください。

- ツキノワグマの被害にあわないための注意点
- ① クマの出没情報に注意し、危険な場所には近づかない
- ② 山林に入るときには、2人以上で行動する
- ③ 早朝や夕暮れ時(クマが行動する時間帯)には、鈴や笛など音の出るものを身に付け、クマに自分の存在を知らせる
- ④ 遠くにクマを見つけたら、刺激しないように、慌てず、騒がず、静かに立ち去る
- ⑤ 子グマを見つけたら、速やかに立ち去る



ツキノワグマ
被害防止の
リーフレット

■ 問合せ 産業振興課
☎76・2214



福祉・保育職場の 合同相談会

- 対象 県内の福祉職場に就職を希望する人、令和5年3月卒業見込みの学生
- 日時 8月12日(金) 13時30分～15時30分(受付13時)
- 会場 いわみーる体育館(浜田市野原町1826・1)
- 内容
 - ・福祉の職場PRコーナー(動画配信)
 - ・事業所による就職相談コーナー
 - ・就労支援機関等による個別相談コーナー
 - ・福祉人材センターによる福祉の仕事内容説明など
- 参加費 無料
- 申込 要事前申込。参加法人との相談は事前予約制(先着順)。当日予約の場合は、順番待ちの可能性があります。申込方法は福祉人材センターホームページ(7月1日掲載)をご覧ください。
- 問合せ
島根県社会福祉協議会
(島根県福祉人材センター)石見分室
☎0855・24・9340

三次高等技術専門校 仕事体験入学者募集

- 対象 中学校・高等学校の生徒、一般求職者
- 日時 【1回目】7月28日(木) 【2回目】8月26日(金) 各9時～11時30分
- 場所 三次高等技術専門校(三次市十日市南6丁目14・1)
- 内容 自動車整備・板金溶接・建築大工・介護の仕事体験
- 応募方法 QRコードかFAXで参加申込書を提出
- 応募期間 【1回目】7月1日(金)～22日(金) 【2回目】7月1日(金)～8月19日(金)
- ※希望者が多い場合は先着順
- 募集訓練科 介護サービス科(期間6カ月・年齢制限なし)
- 選考日 9月12日(月)
- 応募期間 7月11日(月)～9月2日(金)
- ※雇用保険受給者で、ハローワークの指示で入校した人は、受給期間の延長(訓練終了日まで)と、諸手当支給の対象となります。
- 問合せ
三次高等技術専門校
☎0824・62・3439



労働保険の年度更新

労働保険(労災保険・雇用保険)に加入している事業主は、年度更新の手続きを行ってください。手続きにかかる相談受付を県内各地で開催しています。会場等は島根労働局ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

● 更新期限 7月11日(月)

■ 問合せ
島根労働局総務部労働保険徴収室
☎0852・20・7010



島根労働局
ホームページ

営農と暮らしに役立つ 農業専門紙「全国農業新聞」

- 月4回金曜日発行
- 購読料 月700円(税・送料込)
- 問合せ 農業委員会
☎76・2214



来島ダムの放流に 注意を

河川やその周辺での作業や魚釣り、水遊び等の際は、河川の増水に十分気を付けてください。ダムから放流する際は、サイレンと巡回警告でお知らせします。サイレンや警告が鳴った時は、川の水が増えて危険なため、すぐに川から上がってください。

「サイレンの鳴らし方」

1分間鳴らし、20秒休みを4回繰り返す



来島ダムの放流量などは、次の電話番号から音声放送で確認できます。

来島ダム放流情報
(0855・75・1901)

※プッシュ回線の場合、案内にしたがってダムを選択してください。ダイヤル回線の場合、浜原ダム情報に続いて来島ダム情報を案内します。

※通話料金が発生します。

■ 問合せ 中国電力(株)東部水力センター 邑智事務所
☎0855・75・1061

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

セラピーロード「山野草園」の
チップ敷き

5月10日、島根県立農林大学校林業科1年生(13人)と一緒に、山野草園のチップ敷きを行いました。これまで主にセラピーガイドで行っていた作業ですが、「多くの人に、ロードの保全や整備を体験してもらいたい」との想いで実施に至りました。

始まってみると、「さすが若人」の一言。すばらしい働きぶり、みるみる真新しいチップが敷かれていきました。将来、林業に携わる皆さんに、少しでも森林の観光面での活用を体感してもらえたと思います。



きのこ園前にセラピー看板を設置

セラピーロードのきのこ園前に、新たに看板を設置しました。今までセラピーロードを案内する際は、森のホテルもりのす前の看板を利用していましたが、セラピーロードに特化したものではありませんでした。

新看板はセラピーロードに特化していて、四季の森の楽しみ方も記載しています。十分な広さのある駐車場です。ここを起点に、隅々までロードの散策が可能になることでしょう。

看板の効果なのか、最近は山野草観察や、キャンプ場を利用している方が、ロードを散策する様子が見られます。ウッドチップと共に、森が持つ天然の癒し効果を多くの人に届けられたらうれしいですね。ぜひ皆さんも散策してみてください。



文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介。今月は、島根天文協会飯南支部です。

県内の星好き仲間が集まる天文協会。協会という仰々しい名前ですが、レアな(変人の?)趣味のため、県内でも会員は20人程度、飯南支部の正会員は1人、臨時招集の準会員(勝手に指名)が数人という弱小サークルです。

活動は、飯原公民館と連携した星空観察会や日食観察会、星空出前観察会など、細々とやっています。飯原公民館裏の駐車場に天体望遠鏡を設置しての月・惑星の写真撮影、流星群・季節の星空解説の観察会は、ケーブルテレビ文字放送でお知らせしています。

数人集まってもえれば、天体望遠鏡を持参して「出前の星空観察(無料)」を開きます。予定した当日に雨やくもりで星が見えないときは、簡易型のプラネタリウム等で室内での星空教室も可能です。申込みは飯原公民館の石川まで。

■問合せ 飯原公民館
☎72・0980



天体望遠鏡で月や木星、土星を観察



「出前の星空観察」がスタート(無料)

短歌

飯原公民館短歌教室 五月詠草



八十路越え二度目の冬は厳しくも春の気配に心燃え立つ
幾たびもデューク東郷の顔浮かぶ戦場の報に理性は押さえずと
負けないぞ米寿なりても指を折り終りを知らぬ短歌に挑む
お浄土でかならずかならず会えとぞ親鸞さまのみ教しえに泣く
梅苔心洗われ新たな生きるよろこびときめく視界
奥山の谷水の音リズムよく清かに流れ心寛ぐ
ひ孫からトランプ遊び教わつたこ焼きゲーム老いを忘れて
田に水の溜まるを待ちて一斉にカエル鳴き出す第九合唱
部屋の隅縫いかけあれば書きかけも片付かぬまま二月の尽
ひとひらの桜花びらかりおり未だ小さき春の蜘蛛の巣
伸びつづくもみじの新芽見つめつつ戦禍の映像心をよぎる
五月入り熊の情報周知あり背すじのばして耳かたむける
世の中に温もり入れて歌詠める正敏翁よ! 天に召されたるなり…

安部 徳則
石川 隆
岡田 繁富
景山サチ子
景山 稔
景山 牧栄
片岡 千鳥
塩田美代子
千葉トミエ
藤原 正
本間 啓美
三上 朋子
鳥田 勝信

今月の人権標語

「家族でつくる人権標語」
優秀作品から

あいさつは
なかよしこよしの
ちかみちだ

飯原小2年 吉田 希一さん
家族名 吉田 育枝さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやか 3・5月届出分

新生児 届出人 地区
八嶋 一嘉 二 郎(上赤名)
景山紗友美 堅 太(飯原)

やすら 5月届出分

お名前 親族 地区
八木 一男 様(94) 豊 (谷)
三原サエ子 様(93) 重 人(長谷)
岡田 忠悟 様(72) 辻奈都子(真木)
藤原ソノエ 様(95) 憲 治(野萱)

今日の表紙

赤名小学校の校庭で行われたサッカー教室。

エースナンバーを背負い必死にボールを蹴るのは、栃木結衣さん(志津見)。

当日は、デイトツサ出雲FCの監督をはじめ選手全員が駆けつけ、子どもたちにとって特別な時間となりました。

当日の様子は赤名FCのホームページでご覧ください。(7ページに関連記事)



2022
7

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 ★ 文化・体育 ◆ その他

1 金	◆ きじま里山講座ホテル観賞会 📖 授業公開日(来島小・志々小)
2 土	◆ 半夏まつり(花火のみ)
3 日	
4 月	
5 火	📖 授業公開週間(赤来中)～8日 + 住民健診(さつき会館) 📖 職場体験(赤来中・頼原中)
6 水	+ ほっと。Café(来島保健センター) + 住民健診(来島交流センター)
7 木	+ 3歳児健診(保健福祉センター) + 住民健診(来島交流センター)
8 金	+ PTA教育講演会(赤来中)
9 土	+ PTA親子環境整備作業(赤来中) + 飯南本執筆講座[ヒトカラ](来島交流センター)
10 日	
11 月	+ 子宮がん検診(午前:赤名農村環境改善センター、 午後:来島交流センター)
12 火	
13 水	+ ほっと。Café(来島保健センター)
14 木	+ 1歳6ヵ月児健診(保健福祉センター)
15 金	+ 乳がん健診(午前:赤名農村環境改善センター、 午後:来島交流センター)
16 土	
17 日	★ ストーリーテリング「こわい話」(中央図書館)
18 月 海の日	
19 火	
20 水	📖 小中学校終業式 + ほっと。Café(食講座【離乳食】)(来島保健センター)
21 木	📖 県総体(卓球)～23日
22 金	◆ はびこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 📖 県総体(陸上)～24日
23 土	◆ ふれあいラジオ体操(谷笑楽校) 📖 PTA親子ふれあい活動(志々小)
24 日	◆ やまめのつかみ取り大会(塩谷川) 📖 県総体(バレー)～26日
25 月	
26 火	+ 乳がん健診(赤名農村環境改善センター)
27 水	+ ほっと。Café(来島保健センター)
28 木	◆ 3館(赤名・谷・来島)合同キャンプ
29 金	★ 趣味講座「絵手紙をかこう」(交流センターとんぼら)
30 土	◆ 若者交流イベントBBQ & メスティンCooking (もりのすBBQサイト)
31 日	★ 図書館読み聞かせ研修会(来島交流センター)



年に数回は、飯南町に帰省する金築さん。盆や正月だけでなく、「はやしこ(秋祭り)」に合わせて帰省するそう。「家族だけでなく、地域の皆さんと話せるいい機会だしね。はやしこはこれからも長く続けてほしい」と金築さん。飯南町が好きなの理由です。

お客さんに花・緑・自然を通じ、「感動と喜び」「潤いと楽しさ」を提供する(株)フローラ。専務取締役として国内外を飛び回るのが、金築英明さん(59歳)です。

金築さんが、大学の同級生でもある同僚と起業したのは、働き盛りの40歳。「自分たちの力を試したい」と思ったことがきっかけでした。

「ルールいいなん 11」

このまちに住んでいようと、なかならうと、ルールをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介しつづけます。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよこまで。

長く続けること

起業してからの数年間、倒産する顧客や、同業者を目の当たりにし、楽しさよりも、苦しさを感じる時期が続きました。それでも日々、起る問題に誠心誠意対応してきた金築さん。クレーム対応で東京から静岡まで、夜中に車を走らせたことも。「ミスした時こそ真剣に対応すること。会社や自分自身を問われる瞬間だから」と話します。

起業して5年経ったころ、事業が波に乗り始め、仕事を楽しめるようになってきたそう。「責任も重くなつたけど、自分で会社の方向性を決めることの楽しさも知ったし、海外と



かねつき ひであき
金築 英明

飯南町野萱出身。飯南高校卒業後、阪南大学に進学。卒業後、ガス会社、貿易会社勤務を経て、起業。現在、造花の輸入販売・アレンジフラワーを販売する(株)フローラ(東京都)の専務取締役

の交渉もあって、いろいろな人と知り合うことができて」と話します。

苦しかった時期もある中で、乗り越えてこられた理由は、起業の際に決めた一つの方針を貫いたからでした。「とにかく長く会社を続けること」。

金築さんは「会社を大きくしたい思いは当然ある。でも、長く続けることが最重要。長く続けることが、従業員や自分の幸せにつながる」と言います。

「東京に出ているけど、飯南町に育ててもらった気持ちが大きい。今後は、飯南町で頑張る人の手伝いができれば」と話していました。

ごみ収集日

収集地区	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類	資源物 収集日
頼原連坦地	25日(月)	11日(月)	20日(水)
八神連坦地	27日(水)	13日(水)	
連坦地以外	26日(火)	12日(火)	
赤名連坦地	19日(火)	4日(月)	27日(水)
来島連坦地	21日(木)	6日(水)	
連坦地以外	20日(水)	5日(火)	

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頼原・志々	6日(水) 8日(金)
赤名	21日(木) 26日(火)
来島	13日(水) 16日(土)

【いいしクリーンセンター】 ☎ 72-9217
【クリーン(株)】 ☎ 72-1401(頼原地域)
【クリーン(株)】 ☎ 76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

町の人口 4,622人(前月比+3人) 男性2,184人 女性2,438人 世帯数2,036戸 R4.6.1 現在

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか

